

事業シート5

課コード: 002314000
 担当組織: 道路課

作成日: 平成24年4月1日
 責任者: 町田久雄

基本政策	課	政策	目	事業
計画コード 13	02	0216	01	021605

款	項	目	事項
予算コード 36	06	50	21

款	項	目	事項
36	06	50	

事業名: 道路維持修繕事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	人工 (正規職員) (単位:人)	23年度	24年度	比較
	3,461,402	3,062,000	399,402		1.7	1.7	0.0
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他
		1,189,138	1,833,594		15,000		24,268

事業の目的

道路の安全で快適な通行のため、維持修繕を行う。

事業内容(平成24年度に何をやるか)

道路施設の安全で安心な通行を確保するため、道路の舗装改良、修繕、維持等を行う。
 国県道や市道の主路線について、舗装長寿命化修繕計画(H24~28)に基づき、修繕工事を行う。
 また、道路の危険箇所を事前に点検し、災害発生を未然に防止するため、道路パトロールを行う。

これまでの取組状況(平成23年度に何をを行い、その結果はどうなったか)

【単独事業】

- ・7区内の舗装の改良、修繕、維持等の工事契約を行い、歩行者をはじめ通行車両の安全・安心の確保に努める。
- ・路面等の小破修繕、道路除草、舗裝修繕等の道路管理を実施し、安全・安心な通行の確保に努める。
- ・市内全域の道路パトロールを実施し、道路施設の危険箇所を事前に点検し、修繕を行ったことにより事故等を未然に防ぐことができた。

開始年度	終了予定年度	事業の性格分類	根拠法令等					
昭和 27 年	年	自治事務	道路法42条					
会計区分	戦略性	マニフェスト	事業の特徴	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
一般会計	分野別計画							
行革審答申	外部評価	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	*H20は事業仕分け							

(単位:千円)		H22	H23	H24	H25計画	H26計画	H23～26計
事業費	予算	3,207,156	3,461,402	3,062,000	3,062,000	3,062,000	12,647,402
	決算	3,066,333	3,361,913				3,361,913
財源内訳	国・県支出金	90,798	87,707				87,707
	市債		231,900				231,900
	その他	272	21,366	1	1	1	21,369
	一般財源	2,975,263	3,020,940	3,061,999	3,061,999	3,061,999	12,206,937
	*一般会計繰入						0
人件費(報酬等)		0	0				0
人件費		13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	54,400
内訳	人工(正規)	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	
	人工(非常勤)						
	人工(再任用)						
年間経費(事業費+人件費)		3,079,933	3,375,513	3,075,600	3,075,600	3,075,600	12,602,313

成果指標1		管理瑕疵事故の削減					
種類	アウトカム(成果指標)	単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標	件	35	35	35	35	35
	実績	件	22	31			

成果指標2							
種類		単位	H22	H23	H24	H25	H26
	目標						
	実績						

事業の成果(平成23年度末での目的の実現状況 活動ではなく状態)

【単独事業】

- ・7区内の舗装の改良、修繕、維持等の工事を施工し、歩行者をはじめ通行車両の安全・安心を確保するよう努める。
- ・路面等の小破修繕、道路除草、舗装修繕等の道路管理を実施し、安全・安心な通行を確保することができた。
- ・市内全域の道路パトロールを実施し、道路施設の危険箇所を事前に点検し、修繕を行ったことにより事故等を未然に防ぐことができた。

評価(平成23年度事業の評価)

(1) 必要性: 継続

(廃止した場合に考えられる影響)

道路の安全で安心な通行を確保するためには、災害や事故の発生の恐れのある危険箇所を事前に特定し、措置を講じなければならない。そのため、道路パトロールによる点検、小破修繕及び舗装修繕等の維持管理の必要性は高い。

(2) 責任主体: 市

(市が実施しない場合に考えられる影響)

道路の安全で安心な通行を確保するため、道路の舗装改良、修繕、維持等を行うことは、道路管理者の責務である。

(3) 拡大・縮小: 現状

(理由)

更新時期を迎えた道路施設の補修や改良が見込まれる。また、安全で安心な道路環境を維持し、市民等からの要望等に迅速に対応する。

(4) 改善: 改善なし

(理由)

以前から改善、改革に取り組んできたので更なる改善は見当たらない。

今後の方向性 現状

更新時期を迎えた道路施設の補修や改良が見込まれる。また、安全で安心な道路環境を維持し、市民等からの要望等に迅速に対応するためには、道路清掃、道路除草、小破修繕、舗装修繕及び道路パトロール等の維持管理経費の充実が求められる。

改革・改善(評価を反映して何を見直したか)

(1) これまでに実施した改革・改善(平成24年度予算で反映したものを含む)

(2) 今後の改革・改善計画(いつまでに何をどう見直す)

補足シート5 -

	款	項	目	事項
予算コード	36	06	50	21 26

事業名： 国県道単独事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	1,447,096	1,478,000	30,904					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		511,690	944,034		15,000		7,276	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

道路施設の安全で安心な通行を確保するため、道路の舗装改良、修繕、維持等を行う。
 国県道の一部の主路線について、舗装長寿命化修繕計画(H24~28)に基づき、修繕工事を行う。
 また、道路の危険箇所を事前に点検し、災害発生を未然に防止するため、道路パトロールを行う。

これまでの取組状況(平成23年度に何を行い、その結果はどうなったか)

【国県道単独事業】

- ・7区内の舗装の改良、修繕、維持等の工事(県道村櫛三方原線外33路線)の契約を行い、歩行者をはじめ通行車両の安全・安心の確保に努める。
- ・路面等の小破修繕、道路除草、舗裝修繕等の道路管理を実施し、安全・安心な通行の確保に努めた。
- ・市内全域の道路パトロールを実施し、道路施設の危険箇所を事前に点検し、事故等を未然に防ぐことができた。

補足シート5 -

	款	項	目	事項
予算コード	36	06	50	21 31

事業名： 市道単独事業

事業費 (予算) (単位:千円)	23年度	24年度	比較	施設管理	指定管理	受益者負担	補助金	市民協働
	2,014,306	1,584,000	430,306					
24年度 事業費内訳 (単位:千円)	需用費	委託料	工事請負費	公有財産購入費	負担金補助 及び交付金	扶助費	その他	
		677,448	889,560				16,992	

事業内容(平成24年度に何をやるか)

道路施設の安全で安心な通行を確保するため、道路の舗装改良、修繕、維持等を行う。
 市道の一部の主路線について、舗装長寿命化修繕計画(H24~28)に基づき、修繕工事を行う。
 また、道路の危険箇所を事前に点検し、災害発生を未然に防止するため、道路パトロールを行う。

これまでの取組状況(平成23年度に何を行い、その結果はどうなったか)

【市道単独事業】

- ・7区内の舗装の改良、修繕、維持等の工事(市道神原大久保線外39路線)の契約を行い、歩行者をはじめ通行車両の安全・安心を確保に努める。
- ・路面等の小破修繕、道路除草、舗裝修繕等の道路管理を実施し、安全・安心な通行の確保に努めた。
- ・市内全域の道路パトロールを実施し、道路施設の危険箇所を事前に点検し、事故等を未然に防ぐことができた。